



草原やさいだより



No.1

2005年7月発行
阿蘇草原再生シール
生産者の会事務局
〒869-2225

熊本県阿蘇市黒川 1180
阿蘇自然保護官事務所内
Tel : 0967-34-0254
http://www.aso-sougen.com/producer/

第一回理事会報告

時 平成一七年七月六日(水)
一九時～二一時半
於 阿蘇市一の宮町坂梨公民館

「阿蘇草原再生シール生産者の会」の第一回理事会が開かれました。出席者は、一名でした。

まず、市原会長から「草原再生への貢献をアピールしていただき、将来的には、品物に付加価値がついて高く売れることを目指していきましょう。」と挨拶があり、その後3つのテーマについて話し合いました。その結果をご報告します。

申請の状況、シール及びシールデザイン利用状況について

現在、会員は、一九名(生産者会員一七名、特別会員一名、賛助会員一名)です。シール発行枚数は三千枚、デザイン利用が一二十枚となっております。事務局が目標とする会員数五 名を目指して、今後さまざまな形で参加を働きかけていきます。会員のみさんもご協力お願いします。

会発足後の活動状況について

- ・会員から次のような報告がありました。
 - ・もっこす市場(阿蘇市)に出荷していますが、シール貼付の効果はまだはつきりとはわかりません。キャベツは、同店舗を通して福岡にも出ています。(市原)
 - ・特別会員の力丸さんの協力で、植木町など阿蘇市郡外への新しい流通経路が開かれています。(山口)
 - ・南阿蘇の場合、野菜を扱っているのは、白川水源の自然庵くらいです。もうじき、ニンニクにシールを貼って出す予定です。久木野おふくろ館にも出している人がいるので店長に

働きかけてはいかがでしょうか。(後藤)
・農協支所店頭での販売においても、今後はシールを貼るよう働きかけてみたいと思います。(本田)

福岡でキャンペーン

販売を行いました

七月二七日(水)、熊本県福岡事務所及び読売新聞西部本社協力ののもと、福岡県福岡市の「よみうりプラザカフェ」(読売新聞西部本社一階)で、阿蘇草原再生シールを貼った農産物のキャンペーン販売を行いました。

販売した野菜は、トマト、ナス、キュウリ、ピーマン、スイートコーン、タマネギなどで、当日、阿蘇から福岡市内へ運び、四名の会員が直接販売を行いました。野菜には、生産者の顔写真とメッセージを添えました。

また会場には、「草原再生シール」の趣旨やこれまでの阿蘇草原再生の取組みを示すパネルやポスターも展示しました。

販売前は、消費者の反応が心配でしたが、一日で約十二万円の売り上げに達し、お客さんの反応も上々という、大変うれしい結果となりました。

買物客で賑わう販売所



消費者との会話も弾む!



野菜を選ぶ目も真剣



試食コーナーも設置



応援求む!

来たる 8月5日
熊本での
キャンペーン販売決定!!

日時: 平成 17年 8月 5日(金)
午前 10:00 ~ 午後 5:30
場所: かたらんね

熊本市手取本町 8-2
テトリアくまもと 1F (熊本県
観光物産交流スクウェア)





キャンペーン販売に参加した生産者の会 会員の声



市原啓吉さん

都市部は核家族も多いので、キャベツは半分にカットして売るなどの量の調節が必要だと思いました。料理の仕方などを生産者が説明して売るのも効果的でした。



山口ヒサカさん

やるまでは心配でしたが、大勢のお客さんが来てびっくり！実際に現場で売ってみると消費者の思いがわかるし、消費者が身近に感じられてよかった。



甲斐イチヨヨさん

人通りが少ない場所にもかかわらず、よくお客さんが来てくれました。新鮮な野菜を喜んでくれ、生産者の会や草原再生の宣伝になるので、時々はやってもいいと思いました。



中村節子さん

地ギユウリなど阿蘇にしかないものに興味を示してくれる方が多かったです。また、試食が効果的でした。高菜漬けを販売してほしいという方が多かったです。



消費者アンケート結果

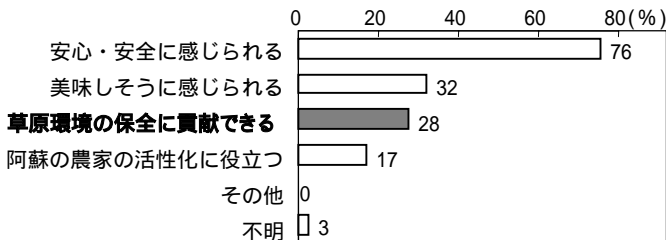


7月27日、福岡市内でのキャンペーン販売で実施した消費者へのアンケート調査結果を報告します。会場出口で調査票を手渡し、その場で記入してもらい回収しました。（回収数120枚）。

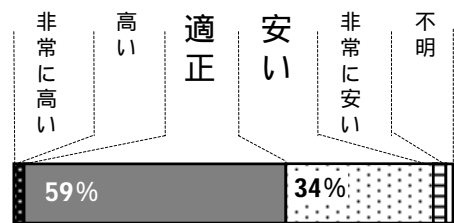
回答していただいた方は女性が約7割、福岡市内在住が6割でした。回答者のうち9割の方には農産物を購入していただきました。また、このキャンペーン販売で、95%の方が阿蘇草原再生について興味を持ったことがわかりました。

シール商品を見てよいと感じたこと

《「草原環境の保全に貢献」は約3割》



購入価格 《ほとんどが「適正」もしくは「安い」》

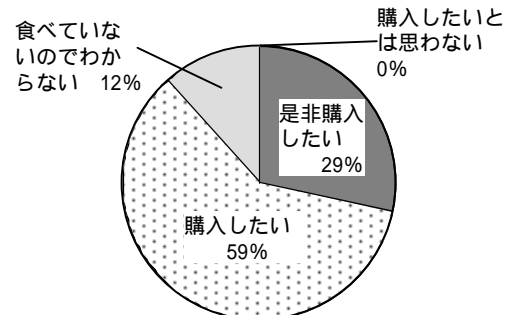


販売価格は、阿蘇市内の直売所の2割増しに設定した

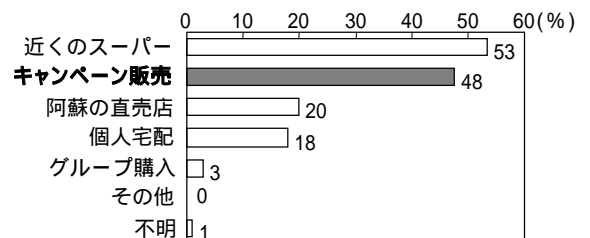
消費者からの声（アンケート自由回答より）

- ・生産者の方の名前が入り、とても安心して食べられると思った。
(福岡市在住40～50歳代の女性)
- ・おいしいものを食べたいので無農薬がいい。
(福岡市在住20～30歳代の女性)
- ・阿蘇山は全国的に有名なのでもっとPRして色々な場所で販売して欲しい。
(福岡県在住20～30歳代の女性)
- ・「草原再生」という言葉をもっとメディアに広げて欲しい。
(福岡市在住20～30歳代の女性)
- ・自然のサイクルの中での農産物ということで安心して食べられそう。
(福岡市在住20～30歳代の女性)
- ・農業の全体的再生が今後の環境保全のキーポイントとなると思われる。
(福岡県在住40～50歳代の男性)
- ・一般消費者は環境貢献商品に対し敏感になってきているので行動でアピールしていけば必ずよい反応があると思う。
(福岡県在住40～50歳代の男性)
- ・とうもろこしが生で食べられておいしかった。
(福岡県在住40～50歳代の女性)

今後の購入意向 《約9割が「購入したい」》



購入方法 《「キャンペーン販売」希望も半数》



購入したいと回答した106名が対象